

# 地域医療連携だより

Vol.202  
R2.3

長浜赤十字病院 地域医療連携課  
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7  
TEL0749-68-3314  
FAX0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター  
地域周産期母子医療センター  
地域災害医療センター  
滋賀県地域がん診療連携支援病院  
基幹原子力災害拠点病院



早春の候、貴院におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



## 歯科口腔外科について



平素より地域の先生方におかれましては、多くの患者さんをご紹介して頂き誠にありがとうございます。

私、足立が2018年4月に赴任してから丸2年が経過し、新年度で早3年目を迎えることになりました。今回は、当科を紹介させていただける機会を頂きましたので、先生方に当科での治療内容、麻酔方法などをご紹介させていただき、今後患者さんをご紹介いただける際のお役に立てるような内容（患者さんへの説明等）を記載させていただきました。



歯科口腔外科医長  
足立 健

当科で行っている治療内容として、最も多いのは「抜歯（埋伏智歯、残根など）」です。その他に「顎骨の嚢胞・腫瘍」、「口腔粘膜疾患」、「顎関節症」、「全身疾患を有する方の治療（全身管理を必要とする観血的処置）」、「外傷（骨折など）」、「顎顔面領域の炎症」、「インプラント治療」などです。

境界領域の疾患においては必要に応じて他科（耳鼻科、形成外科、皮膚科等）と連携を取り、治療を行っております。

また通常診療に加え、救急救急センターをもつ病院としての役割を果たすべく、顎口腔領域での炎症、外傷、骨折などの緊急処置が必要な患者さんの診察も行っています。緊急処置を要する患者さんに対しては、優先して処置を行う場合があるため、予約していただいている患者さんをお待たせすることもあります。ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。

原則的に齶蝕治療や補綴治療は、地域歯科医院さんでの治療をお願いしております。

また、初診当日に外科的処置を行うことは基本的にできませんのでご了承ください（緊急時を除く）。

外科処置の際の麻酔方法としては、患者さんの全身状態や症例により、まず大きくはA：通院処置とB：入院処置に分類されます。

### A：通院処置

①**外来・局所麻酔下**での手術を平日（原則木曜日以外）午後に行っております。

### B：入院処置

②**入院・局所麻酔下**【鎮静処置の有無は要相談】での手術を平日（原則木曜日以外）午後に行っております。こちらには、小児科医師に鎮静を依頼し、処置を行う小児鎮静も含まれます。

③**入院・全身麻酔下**での手術を毎週木曜日に行っております。

基本的には手術の当日に入院していただき、翌日に退院（1泊2日）ですが、患者さんの状態・病状に伴い、入院期間は延長されます。



2017年4月から開始した入院局所麻酔下（鎮静あり、鎮静なし、小児鎮静を含む）での処置件数を示します（表1）。

表1(件数)	2017年度	2018年度	2019年度
入院局所麻酔	57	77	118

\*2019年度は2019年4月～  
2020年1月まで

入院鎮静下での処置に関しては、埋伏智歯の抜歯などで外科処置に対し不安の強い方や抜歯すべき歯が深く埋伏している方、多数歯をまとめて抜歯される方が多く希望されており、ここ1~2年で大幅な増加を認めております。

オペ室利用件数（③全身麻酔下処置+滅菌操作が望ましいインプラント治療を含む）は2019年度においては、2018年度とほぼ同数になることが予想されます（表2）。

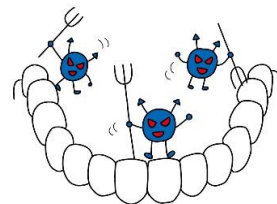
表2	2017年度	2018年度	2019年度
オペ室利用件数	99	125	104

\*2019年度は2019年4月~2020年1月まで

今後も患者さんにとって最適の治療方法を選択し、納得した上で治療を受けていただきたいと思いますと考えております。

次に、2019年度の患者動向を示します（表3）。紹介数（新患数、紹介患者数）の増加を認めており、口腔外科症例に特化した当科の診療体制に地域歯科医院の先生方がご理解、ご協力いただいている事が見て取れました。

表3(人)	2017年度	2018年度	2019年度
新規患者数	1,093	1,214	1,245
地連紹介患者数	513	594	706
入院延べ患者数	494	672	602



\*2019年度は2019年4月~2020年1月まで

2020年度の歯科口腔外科の診療体制は、

常勤医師2名：医長 足立 健/卒後11年目/口腔外科 専門医/2018年4月~  
 医員 森 敏夫/卒後6年目/口腔外科 認定医/2020年4月~

非常勤医師1名：山本 学先生/口腔外科 専門医・指導医/滋賀医科大学 歯科口腔外科学講座 教授  
 歯科衛生士3名、受付1名、ユニット3台にて日々の診察を行います。

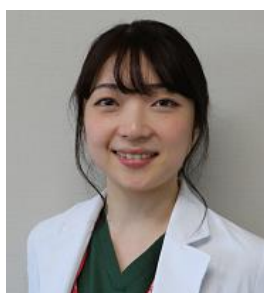
今後、より一層の地域歯科医師会や開業歯科医院さんとの連携が重要になってくると考えております。今後とも先生方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### ◆◆ 新任医師よりご挨拶 ◆◆



皮膚科 古田 浩大

令和2年2月より長浜赤十字病院皮膚科に赴任いたしました古田浩大と申します。平成28年に京都大学を卒業後、同附属病院での初期研修ののち滋賀県立総合病院皮膚科に勤務しておりました。皮膚科診療の多くは湿疹や白癬など生命にかかわることの稀な疾患ではございますが、それだけに患者さんの治療意欲や希望に大きく依る診療科となり、患者さんの気持ちを推しつつ診療させていただきます。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



産婦人科 宗 万紀子

京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院、大阪赤十字病院に勤務し、この2月から長浜赤十字病院で働かせていただいております卒後4年目の宗万紀子と申します。周りに産婦人科が少ない中での診療は初めてであり長浜赤十字病院の産婦人科の重要さ、大変さを実感しております。未熟者で皆様にとくさんご迷惑をおかけすると思っておりますが、日々精進いたしますので、どうぞご指導よろしくようお願い申し上げます。

## ◆◆ 研修会延期のご案内 ◆◆

### 🌱第4回地域連携学術講演会

日時：3月19日(木) 18時30分～20時

場所：2号館5階 大会議室北

テーマ：特別講演「便秘症治療と胆膵内視鏡治療の最前線」

講師：滋賀医科大学附属病院 消化器内科 病院准教授 稲富 理 先生



※新型コロナウイルス感染予防のため、上記研修を延期とさせていただきます。  
ご予約頂いていた先生方には申し訳ございません。

## ◆◆ 活動報告 ◆◆

### 第3回北びわこ地域医療支援漢方講演会

(2月6日開催)

瀬田川病院 副院長 三井 浩 先生より、不眠症についてご講演いただきました。

人間の睡眠サイクルは、高齢になるにつれノンレム睡眠の3層、4層が減り、睡眠が浅くなります。最近の傾向では、特にベンゾジアゼピン系や非ベンゾジアゼピン系の睡眠薬はふらつきが出るので、高齢者には処方しないようになってきているそうです。また、BZD系睡眠薬の長期服用は依存的になり、認知症類似症状の出現や認知症の発症が出やすい事もわかっており、代わってロゼレムやベルソムラなどを使われることが多くなっているようですが、漢方などを使うのも良いとのこと、漢方薬の利用法や睡眠薬断薬のカウンセリング、休薬方法などについてお話くださいました。

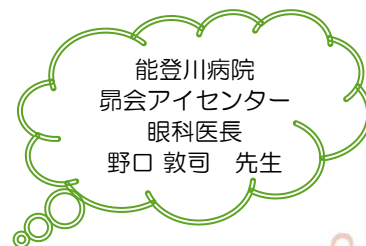
また、不眠の場合すぐに薬を使うのではなく、非薬物療法を行うこと、眠らせることにこだわらないようにすること、「不眠」という訴えが入眠困難・断眠・早朝覚醒・浅眠のどれなのかまずは詳しく問診することも大切だとお話いただき、不眠治療について改めて考えさせられる内容でした。



### 第3回地域連携学術講演会

(2月10日開催)

東近江市立能登川病院 昂会アイセンター 眼科医長 野口 敦司先生に「眼科救急疾患の初期対応」についてご講演いただきました。講演では緊急受診の頻度が高い疾患と緊急性が高い疾患について、写真を交えながら症状や対処法を具体的にお話していただきました。



### ～退職医師のお知らせ～

(一部外来診察日割表に最終診察日未掲載)

- ・消化器内科 駒井 康伸 先生
- ・神経内科 小川 暢弘 先生  
3/25(水)最終診察 (非常勤)
- ・外科 園田 寛道 先生  
3/18(水)最終診察
- ・脳神経外科 河野 浩人 先生  
3/13(金)最終診察
- ・産婦人科 山中 章義 先生  
3/18(水)最終診察
- ・産婦人科 村頭 温 先生  
3/25(水)最終診察
- ・産婦人科 梅宮 槇樹 先生  
3/27(金)最終診察
- ・小児科 梅原 弘 先生  
3/19(木)最終診察
- ・歯科口腔外科 三宅 真規子 先生  
3/27(金)最終診察
- ・精神科 中林 孝夫 先生  
3/27(金)最終診察

お世話になりました。



### ～新任医師のお知らせ～

- ・泌尿器科 中村 真俊 先生  
(カムラ マサト)

よろしくお願いたします。

